

# 太宰治

# 創作の舞臺裏



太宰治 1941年11月 三鷹の自宅付近にて

太宰文学—  
知られざる  
創造のプロセス…。

北海道立文学館  
特別展示室

●開館時間 9:30~17:00(入場は16:30まで)  
月曜日  
ただし、5月3日(月・祝)は開館し、5月6日(木)は休館。

●観覧料

一般 700(560)円

高年生および65歳以上の方 450(360)円  
小中生 300(240)円

※( )内は10名以上の団体料金  
※学校の教育活動の一環として観覧する小中高生等とその引率者、  
障害者手帳等をお持ちの方とその引率者、生活保護を受けている方  
などは観覧無料となります。

主催 北海道立文学館、公益財団法人北海道文学館(北海道立文学館指定管理者)、  
北海道新聞社

後援 北海道、札幌市、札幌市教育委員会

協力 公益財団法人日本近代文学館、青森県近代文学館

4/17 sat  
2021  
6/24 thu

新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、  
会期は変更となる場合があります。

中島公園

北海道立文学館

HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE

H-064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号

TEL 011-511-7655 FAX 011-511-3266

http://www.h-bungaku.or.jp/

◎編集 安藤宏(東京大学教授)



# 太宰治 創作の舞台裏

太宰治(だざい・おさむ、1909(1948年)は、青森県北津軽郡金木村(現・五所川原市)に、大地主の六男(二人の兄が夭折したため、事実上の四男)として生まれました。その出自と肉親との複雑な関係などに苦悩し、破滅的な生活を送りながらも39年の短い生涯において多くの作品を残しました。とりわけ晩年の名作「斜陽」、「人間失格」をはじめとする数々の作品は、時代を超えた感性をそなえ、世代や性別を問わず幅広い読者を得ています。

本展は、太宰治の資料では他の追随を許さぬ一大コレクションを誇る日本近代文学館の「太宰治文庫」を中心とする直筆原稿や草稿、ノートをはじめ図書や雑誌などの各種資料を丹念に追い、作品成立にいたるまでの「創作の舞台裏」を探ろうとするものです。これらを読み解くことの面白さを通じて、作品が生み出される創造の機微に触れていただければ幸いです。なお、昨年、存在が明らかになった「お伽草紙」の完全原稿は、東京に続いて2番目の公開となります。

## 【会期中のイベント】

※イベントはすべて中止させていただきます。

### ●文芸講演会 I

「太宰治の『右大臣実朝』を考える  
—作品が生み出されるまで—

5月8日(土) 14:00~15:30 当館講堂(無料)

講師：工藤正廣(当館館長)

※要申込・4月20日(火)9:00から

—電話受付(先着順/定員25名)

### ●文芸講演会 II

「太宰治 防空壕・はやり歌幻想  
—乱歩・葎・小津など—

5月16日(日) 14:00~15:30 当館講堂(無料)

講師：中澤千磨夫

(北海道武蔵女子短期大学教授、当財団理事)

※要申込・4月27日(火)9:00から

—電話受付(先着順/定員25名)

### ●朗読会

「太宰治を読む」

5月30日(日) 13:30~14:30 当館講堂(無料)

朗読：村井裕子(フリーアナウンサー)

藪 淳一(フリーアナウンサー)

※要申込・5月14日(金)9:00から

—電話受付(先着順/定員25名)

### ●上映会

「真白き富士の嶺」

(太宰治原作/森永健次郎監督/  
吉永小百合、芦川いづみ/1963年/  
99分/DVD上映)

5月23日(日) 13:30~ 当館講堂(無料)

※要申込・5月7日(金)9:00から

—電話受付(先着順/定員25名)

### ●見どころ解説

4月22日(木)、5月20日(木)、27日(木)、6月3日(木)  
各日14:00~(約30分)

当館講堂(無料・申込不要・先着順/定員25名)

講師：当館学芸員

各種イベントは変更となる場合があります。

当館ホームページをご覧くださいか、  
お問い合わせください。

背景図版/弘前高校1年次のノート(部分より)

## 太宰文学 知られざる 創造の プロセス...



- ① 太宰治と美知子夫人(1940年、三鷹の自宅前にて)
- ② 弘前高校1年次のノートより(チャップリンの映画からの影響がみとれる落書き)
- ③ 「細胞文芸」創刊号(1928年5月)  
(弘前高校在学中、太宰が編集・発行していた同人雑誌)
- ④ 「お伽草紙」原稿 1945年
- ⑤ 「斜陽」初版本(新潮社、1947年12月)
- ⑥ 「人間失格」原稿 1948年
- ⑦ 「人間失格」草稿 1948年

※混雑時には、入場にお時間をいただく場合があります。

### ●常設展のご案内

## 北海道の文学

北の大地に育まれた北海道の文学。  
自筆原稿や初版本など  
貴重な資料を展示。

観覧料 一般500(400)円  
高大生250(200)円

※( )内は10名以上の団体料金。  
65歳以上、中学生以下無料。高校生は土曜日無料。

通年  
開催

### ●常設展アーカイブ

#### 文学者たちの愛した品々

4月10日(土)~7月4日(日) 常設展示室内

当館所蔵品の中から、文学者たちの愛した品々を紹介します。

### ●次回・特別展のご案内

#### 天災地変人禍に抗して

—北海道の災害と文学—

7月3日(土)~8月22日(日)

観覧料 一般500(400)円、高大生250(200)円

※中学生以下、65歳以上の方は無料。

[交通案内]地下鉄南北線「中島公園駅(出口③)」または「幌平橋駅(出口①)」から徒歩6分/市電「中島公園通」から徒歩10分/JRバス・中央バス「中島公園入口」から徒歩4分

[お問い合わせ]

TEL 011-511-7655 FAX 011-511-3266

http://www.h-bungaku.or.jp/

道立文学館

検索

フェイスブック、ツイッターでも情報発信中!

## 北海道立文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4

施設設置者:北海道教育委員会(教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課(代)011-231-4111)

指定管理者:公益財団法人北海道文学館

